



議員 氣田 量子 (自民公明クラブ)

## ヘルプカードの導入を

### 県の動向を踏まえ検討

**議員** 障害や難病を抱えた方が氏名や緊急連絡先、障害や病気の名前、必要な支援等をあらかじめ記しておき、緊急時や災害時に提示して手助けをお願いしやすくするヘルプカードを導入するべきではないか。

**健康福祉部長** 全国では東京都や愛媛県が統一したガイドラインを策定しているように、一市町村単位で導入するよりも広域で同様のカードを導入することが効果的と考えています。現在、県においてヘルプカードと同様のヘルプマークの事業化調査が進んでいることから、県の動向を踏まえながら検討したいと考えています。

**議員** 近年、ひきこもり者の高齢化が進み、親の高齢化も進んでおり、

果ては生活困窮に至る世帯となることが予想される。市ではひきこもり者の人数を把握しているか。

**健康福祉部長** 成人のひきこもり者の人数は把握していません。

**議員** ひきこもりに関する民間支援団体の情報や関連イベントなどの案内を掲載した専門のホームページを開設する考えはないか。

**健康福祉部長** ひきこもりに関する相談窓口等については市ホームページに掲載したいと考えています。

**議員** 近年水道管など埋設物の老朽化やゲリラ豪雨等による大量の雨水の浸透により道路下に空洞が発生し、道路陥没に至る事案が全国で発生している。市民の命、暮らし

と安全を確保するため、マイクロ波を活用した空洞探査車による幹線道路の調査を実施すべきと考えるが。

**建設部長** 現在国、県で災害時における救急活動や避難・輸送の支障とならないよう、緊急輸送道路などの重要路線を対象に調査を実施していることから、当市でも同様の調査を検討したいと考えています。

路面下空洞調査の様子



路面下空洞調査の様子

## 市道舗装はスピード感を持って 要望箇所ふえ 期間を要する



議員 舩 甚 英文 (日本共産党)

**議員** 市道舗装の進捗率は。

**建設部長** 現在の市道延長は九百三十八キロメートルで、過去三年間の整備率は平成二十四年度七五・一％、二十五年度七五・一％、二十六年七五・八％です。

**議員** 六メートル幅の道路約一キロメートルの舗

装に要する期間は。

**建設部長** 道路施設の老朽化に伴い町内会からの要望がふえており、維持補修費が増加傾向にあることから、約六年かかります。

**議員** 国道一〇二号沢トイレ付近のつり橋を早急に撤去する考えはないか。

**市長** このつり橋は老朽化が著しく、利用者の安全確保が難しくなったため、平成十八年十月に通行禁止としました。国の制度事業等を見据えながら、河川占用期限の平成三十三年三月までに撤去したいと考えています。



老朽化著しい银杏橋

**議員** 子供の医療費窓口無料化は市総合計画に組み込まれているか。

**健康福祉部長** 安心して子供を産み育てられる環境づくりに向け、子育て世帯への経済支援策の一つとして、まち・ひと・しごと創生総合戦略で協議を進めています。

**議員** 歯周病検診に対し助成してはどうか。

**健康福祉部長** 歯周病検診を平成十四年度から十九年度まで実施していましたが、受診率が極めて低かったため、平成二十年度から中止し、健康教育による普及啓発や歯科医療機関での定期健診の勧奨を行ってきました。しかしながら、歯周病検診は高齢期における健康を維持し、食の楽しみを享受できるよう、歯の喪失の予防に加え生活習慣等との関係も注目されていることから、今後どのような方法が望ましいか検討したいと考えています。